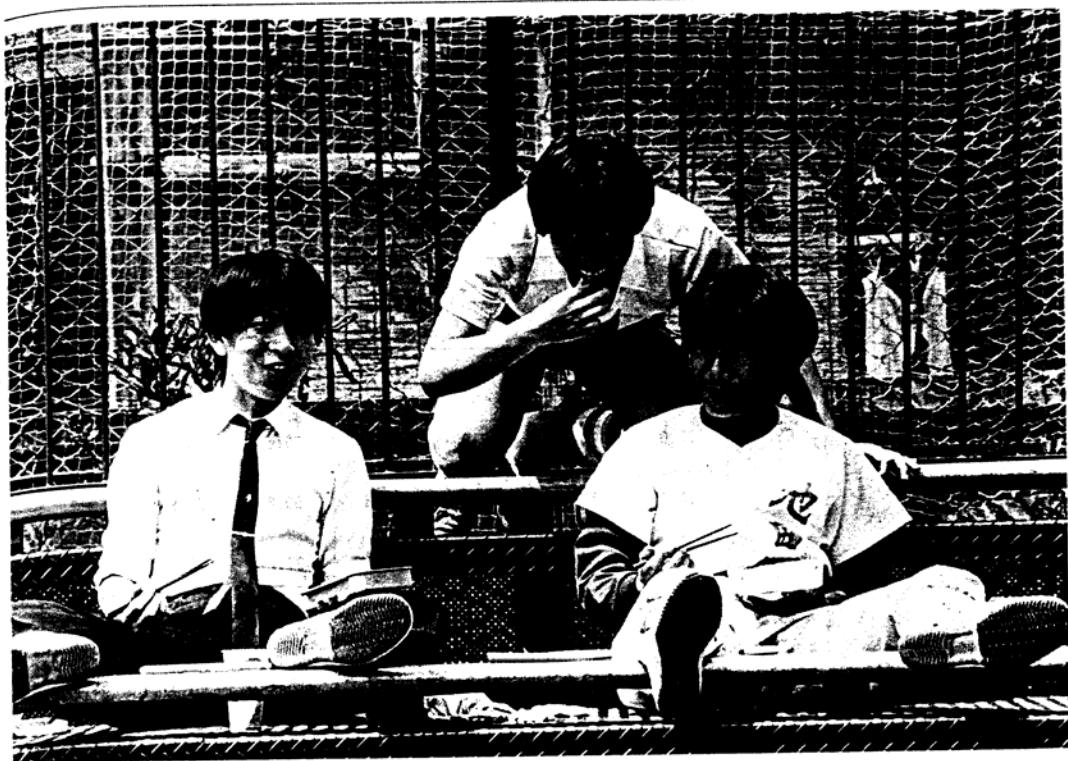


第IV章 自己像と未来像



1. こづかいの額

マスメディアとのふれあいを紹介しているうちに、つとめ群、専修学校群、大学進学群といった進路により、生徒たちのタイプがそれなりにことなることが明らかとなってきた。

もちろん、こうした開きは高校卒業後の進路を考え、大学進学群は勉強しなければと思う。あるいは、つとめ群は成績はともかく、就職に備えてまじめに高校生活を送ろうと思うところから生じるのであろう。

そこで、ここではそうしたタイプの差を、経済面に関連させて考察してみたい。表19は、自分用として持っているものを示しているが、ラジカセやウォークマン、ドライヤーやステレオなど、生徒たちが物持ちなのにあらため

て気づく。

なお、進路別に集計した結果が図12で、この中では進学群は自分用のテレビは持っていないが電卓がある。専修群は全体としていろいろなものを持っているなどの傾向が得られている。それに対し、つとめ群は持ち物がそれほど多くはない。このグループの場合、もしかしたら、経済的に楽とはいえない家庭の生徒が多いのかもしれない。ピアノやラケットなどを持っている割合が少ないあたりに、そうした雰囲気を感じる。

なお、生徒たちが一か月に使うこづかいの額は、表20のとおり6,800円となる。そして、大学進学群は雑誌やカセットなどを買わない

ためか、5,200円で1か月をまかなっているが、つとめ群はそれより2千円以上多い7,400円を1か月で費やしている。そして、専修群はつとめ群よりさらに多く、8,600円を1か月のこづかいにしている。

もちろん、この金額は平均値であり、専修群の2割は2万円以上の大金をこづかいしており、高校生としてはかなりの出費をしているのが目につく。

表19 自分用として持っているもの

——専修志望は物持ち——

項目	性別	学年						(%)		
		全年	高一年	高二年	高三年	四年	五年	六年	七年	八年
ラジオ		78.8	77.8	79.3	79.6	78.3	75.6	(81.6)	78.1	
トランジスター		63.0	57.0	67.3	46.9	74.9	70.6	(74.5)	58.0	
ウォークマシン		56.1	54.4	57.0	64.6	50.3	50.8	(61.9)	56.2	
電卓		47.5	44.8	48.9	55.1	42.5	37.2	48.1	(52.5)	
ステレオ		43.2	44.0	42.8	55.0	35.5	41.0	(51.0)	43.4	
スマートフォン		39.8	32.4	43.0	27.8	47.7	36.1	(48.6)	38.9	
ノート		39.0	34.6	41.2	40.1	38.2	36.5	(46.9)	38.4	
ピアノ・エレクトーン		33.1	25.3	37.1	9.2	48.7	18.0	31.8	(33.1)	
ギター		27.7	29.4	26.8	39.4	20.1	36.5	(42.7)	22.7	
電子機器		18.3	18.9	18.0	26.4	13.0	11.7	(21.3)	20.3	
文具		11.9	11.0	12.5	15.8	9.4	8.3	(14.6)	13.9	
本		11.1	12.8	10.2	23.6	3.1	13.9	(16.7)	9.1	
日記		8.5	10.4	7.6	17.2	2.8	4.9	9.6	(10.9)	
筆記用具		5.8	5.7	5.9	6.6	5.3	3.4	(9.6)	6.2	

図12 持ち物×進路

——大学群はテレビなし——

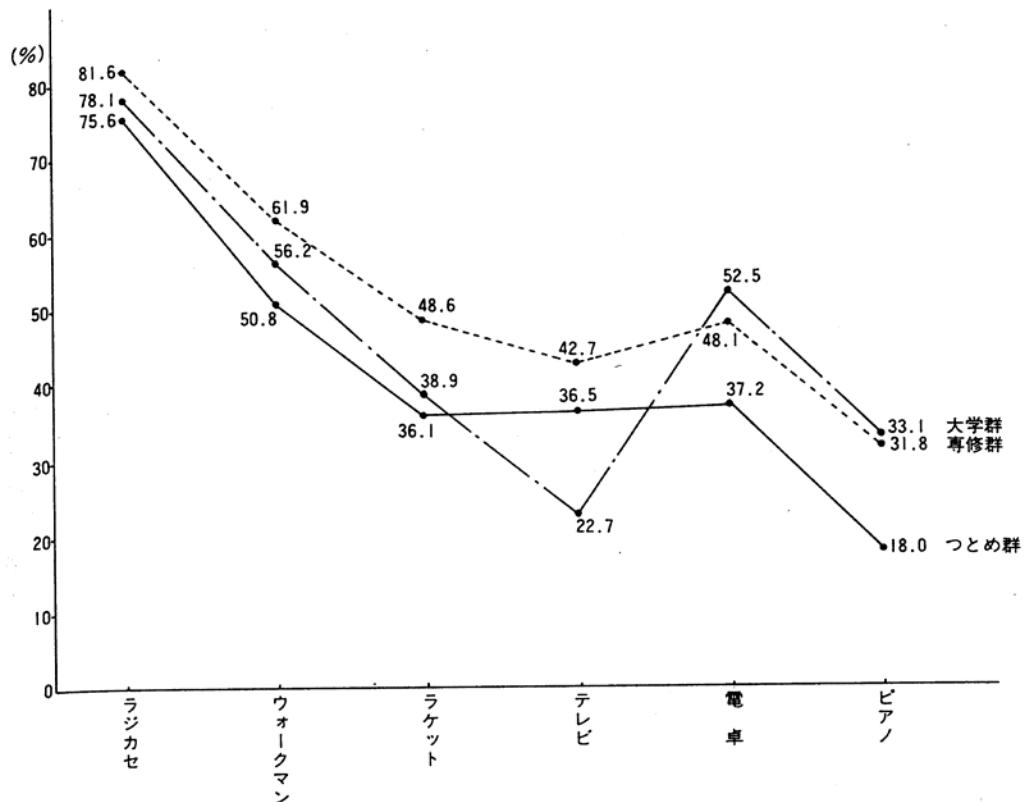


表20 こづかいの額

——大学群は3～5千円——

項目	3千円未満	3千5千円	5千円未満	5千5千円	6千円未満	6千円以上
学生会員	8.4	27.9	36.0	16.3	11.4	7,400円
専修生	7.1	24.8	32.0	16.4	19.7	8,600円
大学院生	12.9	(35.8)	35.1	10.1	6.1	5,200円
全 体	10.9	32.7	35.2	12.5	8.7	6,800円

こづかい=自由に使えるお金

2. アルバイトの体験

子どもたちからすると、1万円弱の金額では欲しい物を買えないのかかもしれない。したがって、不足感を持っているのであろうが、親の立場からすると、学費や学用品、衣料品などの他のこづかいなのであるから、子どもに1万円のこづかいを与えるのも容易でない。

そして、子どもたちも親のふところ事情はわかっているようから、アルバイトをしようという気持ちになる。高校生の場合、さすがにこづかいの全額をかせいしている者はごく少数に限られているが、4分の1近くの生徒は程度の差こそあれ、なんらかのアルバイトを体験している（表21）。

もちろん、大学群は勉強に忙しいので、アルバイトしたことのある者は39%にとどまっているが、つとめ群、専修群ともに、6割前後の生徒がアルバイトを体験している（図13）。とくに、いつでもというのでなく、休み期間

を使ってのアルバイトをしている生徒が多い（表22）。

現在でも、高校によってはアルバイトを禁止している学校が少なくない。アルバイト先ではともすると非常に運なりやすいからという理由らしい。高校生なのであるから、一定の制限を設けた上で、アルバイトの解禁にふみ切ったらどうなのであろうか。

表23のように生徒たちも、アルバイトをしたからといって、おとなになった感じがすることもないし、むだづかいをしなくなることもない。しかし、働くことの大変さを理解できるようになったという。とくに、つとめ群の85%は、働くことを通じて、働くことの大変さがわかったというのであるから、非進学者にとって、アルバイトは職業訓練的な意味を持っているのであろう（図14）。

表21 こづかい
——大学群は働かない——

項目	性別	年齢	路線					
			2年	3年	男子	女子	アメ横	横浜
合計	全體		75.9	63.8	82.2	63.0	84.7	66.0
合計	男女		10.2	14.7	8.0	16.0	6.3	14.6
合計	男女		4.8	7.7	3.0	7.0	2.9	2.7
合計	男女		6.3	10.1	4.4	8.7	4.9	12.5
合計	男女		2.8	3.7	2.4	5.3	1.2	4.2

図13 アルバイトをした経験

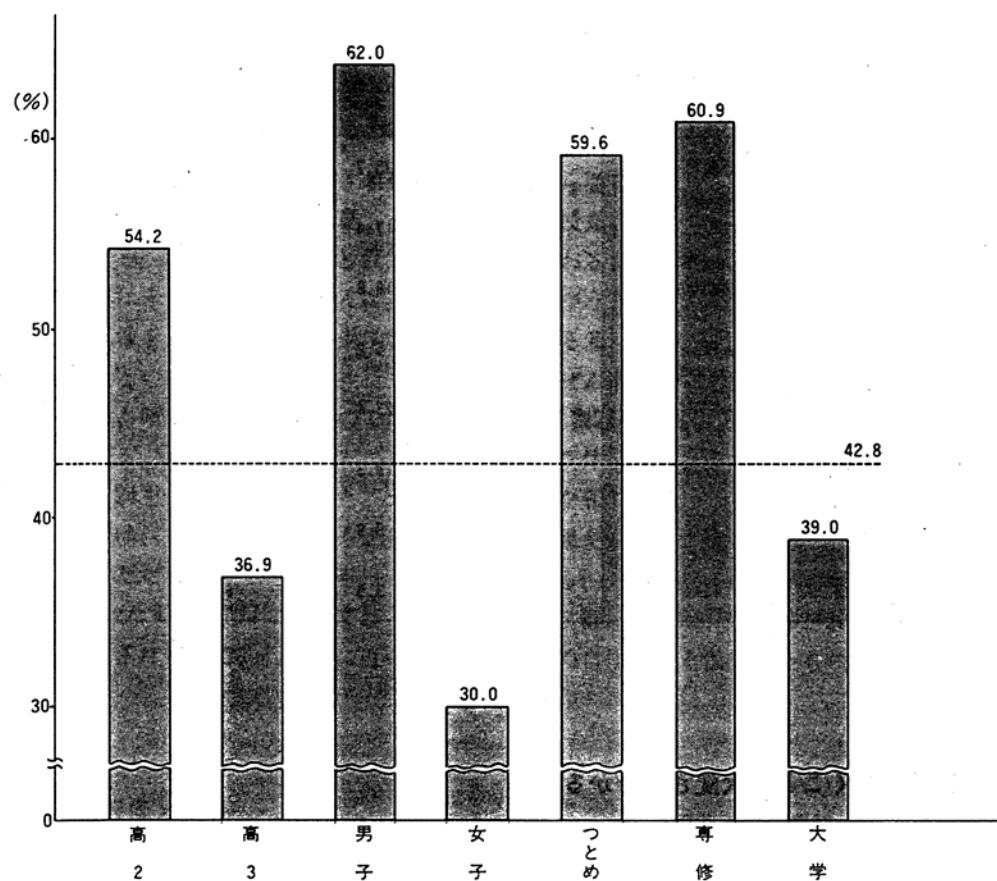


表22 いつアルバイトをするか

—休みの時が多い—

項目	全体	年齢		性別		学年		
		高2	高3	男子	女子	1年生	2年生	3年生
1. 週末や休日でアルバイトをする	59.5	49.5	64.5	40.4	72.0	44.7	41.9	62.6
2. 週末や休日でアルバイトしない	17.8	22.0	15.6	27.5	11.4	22.6	21.3	19.2
3. 週末や休日でアルバイトするが、	4.0	4.6	3.7	4.4	3.7	6.0	6.3	3.2
4. 週末や休日でアルバイトしないが、	7.4	10.0	6.1	11.9	4.6	13.2	12.1	5.1
5. 週末や休日でアルバイトしない	11.3	13.9	10.1	15.8	8.3	13.5	18.4	9.9

表23 アルバイトをやって変わったか

—働くことの大変さがわかった—

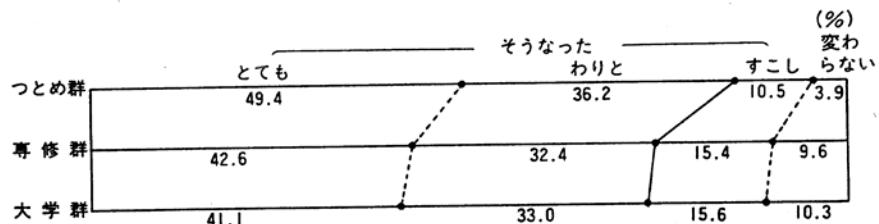
(%)

項目	尺度	とても そうなった	わりと そうなった	すこし そうなった	変わら ない
① 働くことの大変さがわかる	(41.7)	33.7	14.9	9.7	
② 友達とのつきあいが悪くなる	9.6	17.4	22.6	(50.4)	
③ 聞きづからかでいいわけになると	11.7	18.8	23.5	(46.0)	
④ 道路がはっきりしてくる	5.2	6.2	11.7	(76.9)	
⑤ 友だちがいる	21.2	23.4	23.8	31.6	
⑥ なんとなくおとなになつたようだ	9.8	19.3	25.2	(45.7)	
⑦ 親からつづかいをもらわなくなる	14.3	9.9	17.2	(58.6)	
⑧ 授業を新しいよくよになる	3.0	3.9	9.3	(83.8)	

図14 働くことの大変さがわかる

—就職群はそう思う—

(%)



3. 自分についての評価

これまでの分析をとおして、進路によって、生徒たちの意識がことなる姿が明らかとなってきた。全体として見ると、禁欲的な大学進学群、ヤングらしい専修群、大衆的なつとめ群というような類型化が可能だが、そうした行動面での特性は生徒たちの自己評価とどのような関連を持っているのであろうか。

表24に、生徒たちの自己評価を示した。これは1~9の項目に、「自分にあてはまると思うところがあつたら○をつける」形で評価を求めたものだが、生徒たちは、友だちが多く、心がやさしいつもりだ。しかし、ナウとか勉強には自信を持てないと答えている。

そうした中で、進路別に自己像を求めてみ

ると、図15のようなプロフィールが得られる。この中で目につくのは、「友だちが多い」「体力がある」、「運動神経がいい」などの面で、もっとも自信を持っているのが専修学校群、次いでつとめ群、自己評価のもっと低いのが大学進学群という事実であった。

データの読み取りを始めるまで、自信を持っているのが大学進学群で、専修群、つとめ群は、自信を失っているのではと仮定していた。大学群は未来を目指してがんばっているという自己像を抱けるのに、非進学群は進学を断念したという意味で一種の挫折を体験しているので、暗さを持っているのではと思ったからである。

しかし、表24を手がかりにすると、大学群はナウさに欠け、異性からの人気も乏しいネクラな感じをただよわせている。もっとも、こうした傾向はたずねる項目により変わってくることも予想されるので、行動面に近いアイ

テムで自己評価をチェックしてみた。その結果を示したのが表25となる。

ここでは、調査票の感じを出すために調査票通りの提示の仕方を掲げてあるが、20項目の中で「そのとおり」が多いのは、「好きな歌手のレコードを買う」「友だちとダベってなら徹夜ができる」の2項目のみで、あとは「授業のときちゃんとノートをとっている」が加わるにすぎない。他の「マンガを描くのがうまい」、「人前で歌を歌える」、「走っている車の車種がわかる」などについて、「ぜんぜんそうでない」の反応が多いのが目つく(表26は属性別データ)。

全体として、高校生たちの自信のなさが顕著な印象を受ける。こうした中で、進路別の結果を示すと、図16のようなプロフィールとなる。(5)の「好きな作家の本を読む」割合が大学群に多いが、これは、20項目の中で大学群の自信のある数少ないもののひとつで、あ

表24 自己評価×属性
——友だちが多く心がやさしい——

項目	属性	全体	学年		性別		部活動			進路			(%)
			2年	3年	男子	女子	入っていない	運動	文化	つとめ	専修	大学	
① 友だちが多い		48.6	48.5	48.7	48.9	48.5	48.0	51.2	49.6	51.1	56.1	47.6	
② 心がやさしい		41.3	41.4	41.3	54.5	> 32.7	42.7	37.0	42.3	40.2	44.4	43.1	
③ 体力がある		32.7	36.1	31.0	39.1	> 28.5	28.7	51.6	24.0	34.6	36.4	33.7	
④ 運動神経がいい		22.1	24.2	21.0	33.1	> 14.9	21.9	34.5	12.1	22.6	28.5	21.7	
⑤ 友だちをひっぱる力がある		13.7	14.0	13.5	18.9	> 10.2	13.9	15.9	11.6	15.0	15.9	13.5	
⑥ 先生から信頼されている		13.1	13.5	12.8	19.1	> 9.0	13.0	11.8	14.0	12.0	13.4	13.3	
⑦ ナウいかっこうをしている		10.6	12.2	9.9	16.9	> 6.5	13.0	10.8	4.6	12.4	15.5	8.6	
⑧ 異性から人気がある		10.6	13.3	9.9	18.5	> 5.4	12.1	10.1	6.2	10.5	17.2	9.0	
⑨ 勉強がよくできる		7.7	9.1	6.9	13.9	> 3.5	8.0	7.7	4.0	6.4	7.1	8.2	

とは、「体育祭になるとはりきる」が加わるにすぎない。そして、その他の項目については図16のようなプロフィールが並ぶ。

つまり、「マンガ字を書く」や「人前で歌える」「『ポパイ』などにくわしい」など、すべての面でいろいろな行動をとっており、そして、自信を持っているのが専修群、次いでつとめ群、最後に大学群の順位となる。

したがって、先の図15とこの図16とを重ね合わせると、勉強を除けば、これといったことを積極的にしていないし、自信も欠き、ネクラなのが大学群、ナウく、ヤングらしい行動力があり、なにかをやっているのが専修群、節度を持ち、堅実だがヤングらしさがいまひとつつとめ群というイメージがうかんでくる。

図15 自己評価×属性
—専修志望に明るさ—

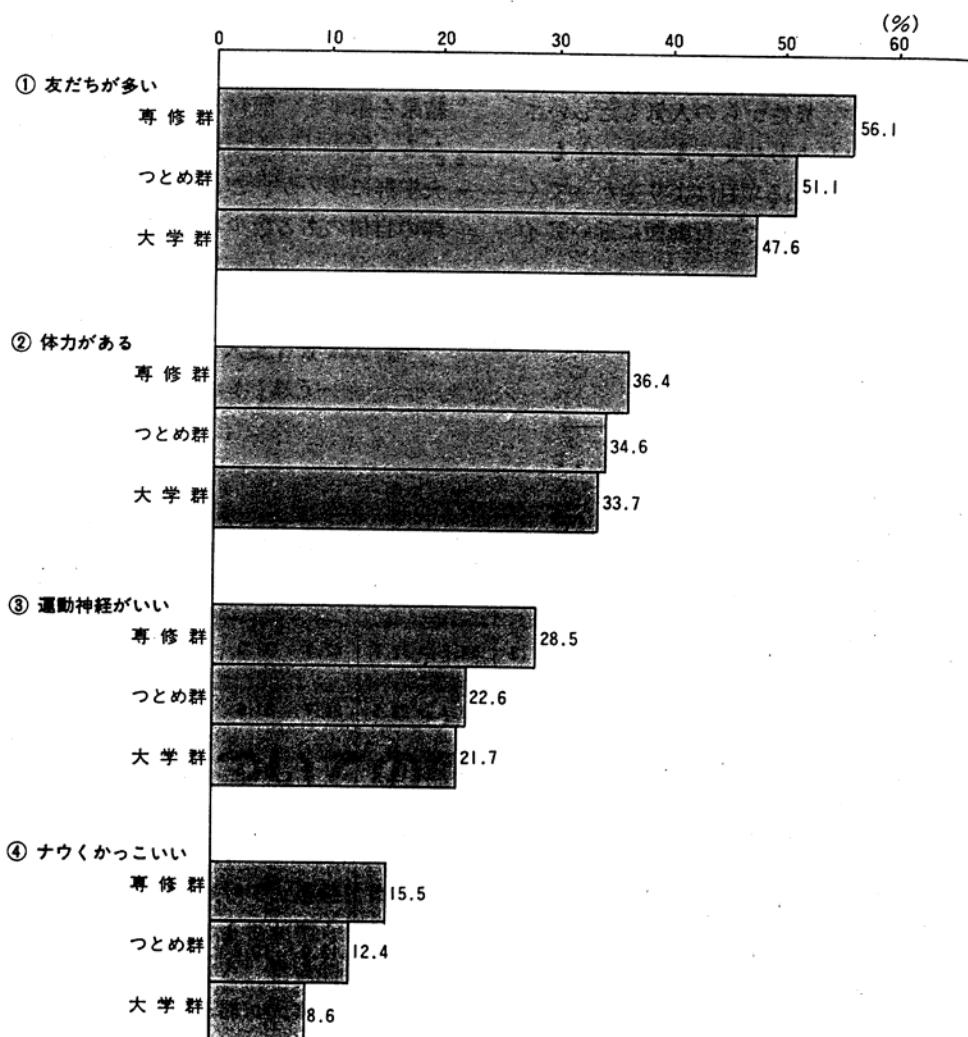


表25 自己評価

——全体として自信を欠く——

(%)

不 ^良 度 項目	まったく ない どおり	わりと そう	まあ そう	あまり そうでない	ぜんぜん そうでない
① マンガを描くのは好きで、けつこううまい。	3.1	5.2	10.4	26.3	55.0
② 本やノートにらく書きをする	8.7	10.7	17.8	25.4	37.4
③ マンガ字を書く	3.8	6.4	14.2	26.2	49.4
④ カラオケはわりと得意だ	8.8	9.3	16.4	28.3	37.2
⑤ 人前でも好きな歌は歌える	10.6	10.7	18.2	26.9	33.6
⑥ けっこいいまでできる楽器がある	9.1	13.6	14.7	24.4	38.2
⑦ ワープロやパソコンを使える	3.2	4.6	10.6	18.3	63.3
⑧ 車の車種・メーカーがわかる	6.9	10.0	14.9	24.2	44.0
⑨ ファッション雑誌は、気にして見ている	10.9	13.6	19.9	24.3	31.3
⑩ 外国で人気の歌手がわかる	12.5	19.3	22.3	28.9	17.0
⑪ 授業中のノートは、きちんととっている	23.7	29.4	26.8	13.6	6.5
⑫ 好きな歌手の新曲ができると、レコードを買ったりする	27.8	20.8	18.9	17.6	14.9
⑬ 好きな作家の本は、たくさん読み込んでいる	14.4	18.4	22.3	26.9	18.0
⑭ 毎週、毎月、占いを見ている	10.4	11.0	14.7	26.7	37.2
⑮ 友たちと一緒に、並んでいる公園や駅を歩く	25.8	21.8	19.4	20.4	12.6
⑯ おもてなし言葉をよく使う	12.2	21.5	28.6	29.1	8.6
⑰ 音楽でよく歌う	5.2	10.6	23.8	37.0	23.4
⑱ おもてなし言葉をよく使う	8.4	12.3	26.8	32.4	20.1
⑲ カラオケに参加して歌がわかる	4.8	9.0	20.1	35.8	30.3
⑳ 両親を「うのむかわい	7.8	13.3	31.7	32.6	14.6

表26 自己評価×属性

—学年差や性差は少ない—

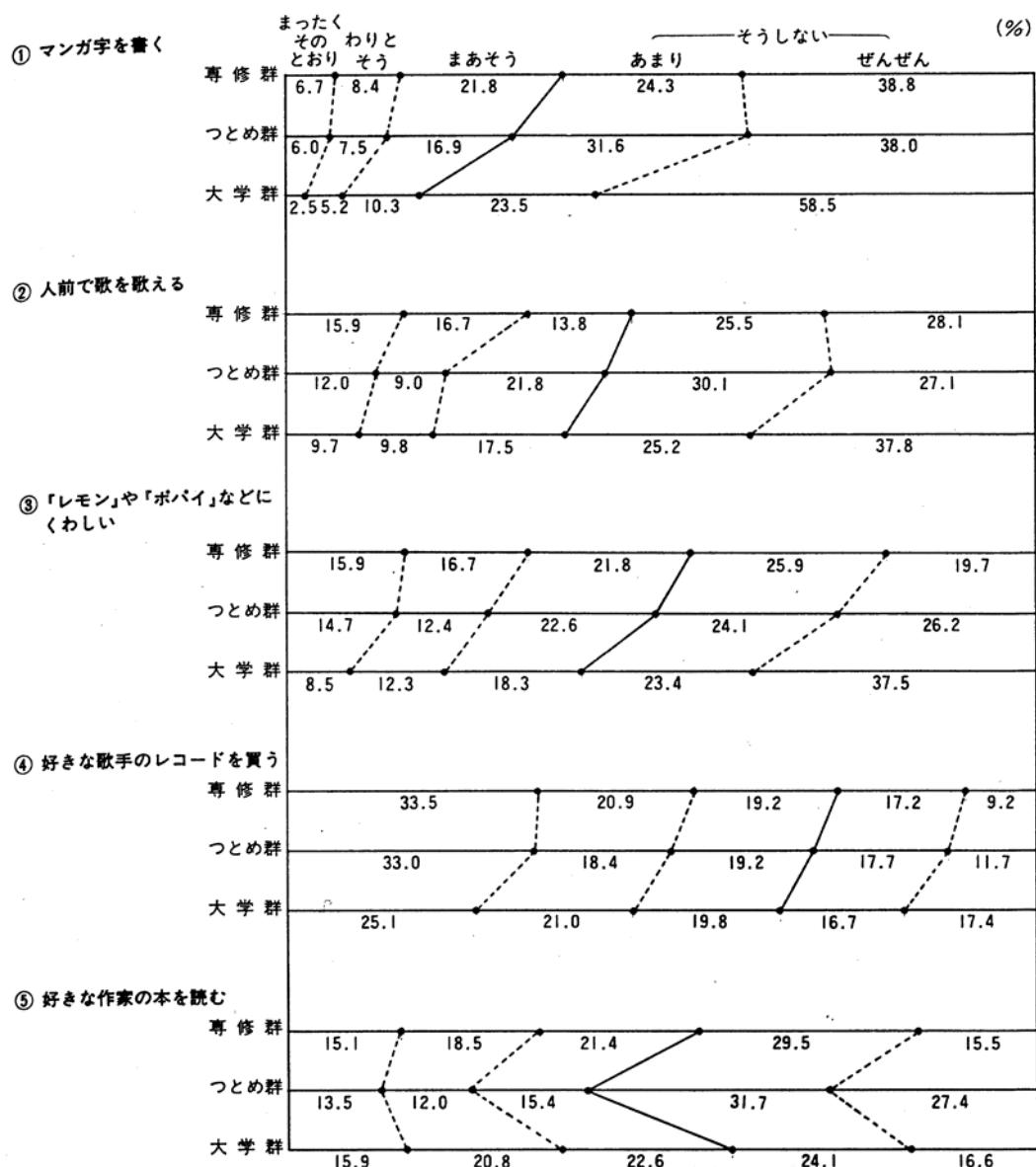
(%)

項目	性別		進路				
	学年	性別	男子	女子	つとめ	専修	大学
2年	3年						
① マンガを描くのは好きで、けっこうまい	3.2	3.0	4.4	2.2	3.8	2.9	3.1
② 本やノートにらく書きをする	10.0	8.1	9.3	8.5	8.3	11.7	8.7
③ マンガ字を書く	3.7	3.9	2.5	4.8	6.0	6.7	2.5
④ カラオケはわりと得意だ	8.6	9.0	11.4	7.1	12.0	11.3	7.4
⑤ 人前でも好きな歌は歌える	10.6	10.6	13.0	9.1	12.0	15.9	9.7
⑥ けっこういい絵までできる楽器がある	8.4	9.5	8.8	9.3	6.8	9.7	10.0
⑦ ワープロやパソコンを使える	3.6	3.0	5.5	1.7	1.9	4.6	3.8
⑧ 車の車種・メーカーがわかる	8.9	5.9	14.5	17.4	4.5	13.4	6.9
⑨ ファッション雑誌は、気にして見ている	10.7	11.0	7.9	12.8	14.7	15.9	8.5
⑩ 外国で人気の歌手がわかる	12.5	12.6	16.2	10.1	7.5	15.5	13.5
⑪ 授業中のノートは、きちんととっている	25.0	23.0	22.5	24.4	28.9	17.2	23.3
⑫ 好きな歌手の新曲ができると、レコードを買ったりする	30.3	26.7	28.6	27.4	33.1	33.5	25.1
⑬ 好きな作家の本は、ちゃんと読んでいる	14.5	14.3	15.7	13.5	13.5	15.1	15.9
⑭ 毎週、毎月、占いを見ている	9.0	11.1	5.8	13.4	16.2	13.0	8.6
⑮ 友たちとグッコリして遊んでいるなら徹夜も平気だ	27.6	24.8	28.8	23.8	26.0	34.7	23.8
⑯ 友たちと遊びに行ったり、新しい友だちができる	13.3	11.6	14.2	10.9	11.7	16.8	11.2
⑰ 制服に手を加えるなど、かっこうと気に入る	6.2	4.5	5.2	5.0	3.4	6.7	4.4
⑱ 本音楽や文化系に興味をもつける	7.6	8.9	9.5	7.8	8.3	9.3	9.8
⑲ ヴィンターコーストに行くがある	5.8	4.2	6.6	3.5	4.2	6.7	4.5
⑳ 元気をもつのが得意	8.7	7.3	11.3	5.5	5.7	11.7	7.6

「まったくそのどおり」の割合

図16 自己評価×進路

——大学群はまじめ——



4. 未来への見通し

それでも、非進学群の明るさは、現在にかぎっての話で、将来については暗さを予想しているのではと思う。

表27に、未来についての見通しをたずねた結果を示した。「市会議員になる」を除くと「たぶんなるだろう」の割合が多いのが注目をひく。つまり、生徒たちは、このままいけば「好きな人と結婚でき」「良い子どもに

恵まれ」、「しあわせな家庭をつくれるだろう」、そうした家庭的なしあわせは手にできるだろうし、「ふつうくらいのお金は入る」と思う。そして仕事面での成功は、すこしむずかしいかもしれないが不可能ではないだろうという。

生徒たちが明るい未来像を抱いているのにおどろかされる感じがしたが、進路別の集計

表27 将来の見通し
—しあわせな家庭は築けるだろう—

項目	尺度	きっと そうなれる	たぶん そうなれる	まことに むずかしいかも	かなり むずかしい	とても むずかしい	(%)
① 貸し出している進路に進める		11.4	24.5	40.6	15.8	7.7	
② 良い子どもに恵まれる		18.2	44.7	22.5	7.0	7.6	
③ 好きな人と結婚できる		26.4	33.0	21.6	9.1	9.9	
④ しあわせな家庭をつくれる		26.9	41.4	18.3	6.3	7.1	
⑤ ふつうくらいの暮らしができる		26.7	51.5	13.9	3.6	4.3	
⑥ 貸し出している仕事につける		15.1	30.2	37.6	10.6	6.5	
⑦ 土地所有から離れない		8.4	25.0	42.4	15.2	9.0	
⑧ 2回目3回目くらいの仕事につける		20.6	39.8	24.8	7.5	7.3	
⑨ ふつうくらいのお金が入る		23.8	53.0	16.3	3.7	3.2	
⑩ お給料は大体上等である		9.4	13.8	37.7	20.2	18.9	
⑪ 家族のいる場所に住める		12.0	15.0	41.3	17.8	13.9	
⑫ 市会議員になる		2.5	1.3	6.7	13.1	76.4	

結果を(表28・図17)に示した。図17をみるとひと目でわかるように「好きな人と結婚ができる」、「しあわせな家庭をつくれる」と思っている者が専修群に多く、つとめ群と大学群とがきびすを接している。もちろん、こうした家庭的なしあわせは、学歴との関連が薄いので生徒たちがそう思うのも理解できる。しかし、「望みの仕事につける」や「社会的に活躍できる」などについては進学群の見通しが明るく、非進学群は、ある程度まで暗さを伴うと考えていた。ところが図17のとおりに、そ

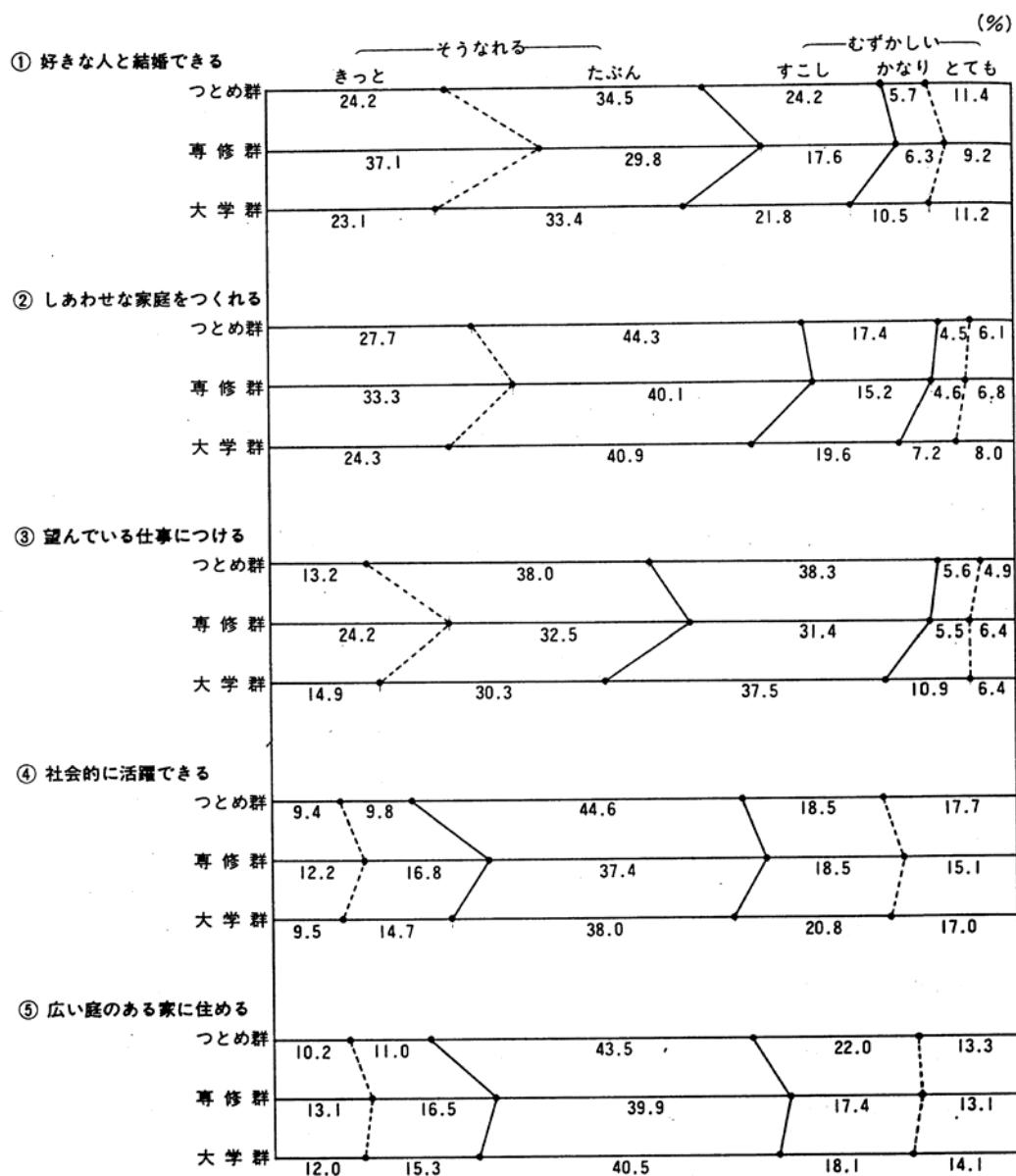
うした社会的な達成についても、つとめ、専修、大学の三群の間にほとんど差が認められず、どちらかといえば、専修群がそれほど悲観的でないイメージを抱いていた。図17の⑤「広い家に住む」についても「すこしむずかしい」と思う者が4割を占めるが、「たぶん」を含めて「そうなれる」と感じている者は、専修群の30%に対し、つとめ群21%、大学群27%である。この場合も、3つのグループの間に予想されるような差が認められないのと、専修群の見通しが明るいのが注目をひく。

表28 将來の見通し×属性
—専修学校志望が見通しの明るさを持つ—

属性 項目	学年		性別		進路			(%)
	2年	3年	男子	女子	つとめ	専修	大学	
① 望んでいる進路に重める	8.2 < 12.9		14.2 > 9.6		9.1	(19.7)	11.6	
② 良い子どもに育まれる	14.9 < 19.9		20.3 > 16.8		17.8	20.8	16.5	
③ 好きな人と結婚できる	24.2 27.5		27.3 = 25.7		24.2	(37.1)	23.1	
④ しあわせな家庭をつくれる	24.2 < 28.4		27.3 = 26.6		27.7	(33.3)	24.3	
⑤ つづくらうのむらじかでなる	23.2 < 28.5		26.7 = 26.7		26.4	(33.2)	25.8	
⑥ 望んでいる中3につける	12.7 < 16.3		19.1 > 12.5		13.2	(24.2)	14.9	
⑦ おとくの仕事につける	8.4 = 8.3		13.5 > 5.1		8.6	(12.8)	7.9	
⑧ おとくの仕事につける	18.8 < 21.5		21.9 = 19.7		17.7	(26.7)	21.1	
⑨ おとくの仕事につける	20.5 < 25.4		24.6 = 23.3		19.5	(28.3)	23.6	
⑩ おとくの仕事につける	9.8 = 9.2		14.6 > 5.9		9.4	12.3	9.5	
⑪ おとくの仕事につける	10.8 = 12.6		15.4 > 9.8		10.2	13.1	12.0	
⑫ おとくの仕事につける	3.0 = 2.3		4.8 1.0		2.3	2.5	1.7	

「きっとそうなれる」と思う割合

図17 未来の見通し×進路
——就職群も明るい見通し——



まとめに代えて

—非進学の明るさを考える—

調査を行ってみて、仮説が崩れることは多い。というより、調査仮説の崩れない調査はないし、仮説と結果とのずれをどう解釈するかによって、新鮮な解釈も可能となる。

とはいもののこれまで数多く調査を重ねているが今回の調査ほど調査仮説が根本から崩れることは少なかった。正直にいって、冒頭でもふれたように、調査票の作成にあたって、同人の月例会などの機会にくり返し論議を重ねてきたのは、進学しない生徒たちを挫折と見るのでなく、非進学者の明るい部分に焦点をあててみたいということであった。

しかし、今回の調査結果をひとくちでいいあらわすなら、非進学者の明るさであった。念のためにこれまでの結果を図化してまとめてみると、表Aのようになる。

ご覧のように、大学群は学校に適応し、勉強にがんばっているが、禁欲的で、自信も欠けるのでネクラ派という感じになる。それに対し、専修群は、勉強は苦手だが、『ぴあ』や『ポパイ』を見、そしてユーミンをきくというように、いかにも若者らしい行動の仕方をしている。そうした意味では、高校生の中ではヤングに近い行動をとろうとしているタイプなのである。

そしてつとめ群は、テレビをよく見ているだけでなく、「夜のヒットスタジオ」のファンで、『明星』を読み中森明菜を応援している。したがって、率直にいえばつとめ群は中学生のように幼い、あるいは、批判的ないい方をするとミーハー的で、やや好意を持つと、それなりにハメをはずさずにがんばっている

ので、マジメ派ということになる。

しかし、マジメ派とヤング派との差はそれほど顕著なものではなく、両群に共通する部分が少なくない。いずれにせよ、非進学群に暗さは認められないのが予想外であった。というより、非進学者を特徴づけているのは明るさで、暗さというなら進学群にあてはまる。友だちも少なく、ナウくなく明菜はキライというタイプである。

もちろん、現在はネクラであっても、未来に明るい見通しなり意欲なりが認められるのなら救いがある。しかし、すでにくり返し指摘してきたとおり、ヤングとネクラとの対比は現在についてあてはまるだけでなく、未来についての見通しにも連なっていた。

このように見てくると、この調査の結果は非進学者の明るさを、進学者の暗さとの対比の中でとらえたことにつきる。もちろん、こうした指摘に、いくつかの反論が予想されよう。まず非進学者は明るいというが、その明るさのかけに、暗さがひそんでいるという考え方である。たしかに、現在でもそうした可能性は否定できないよう思う。しかし、今日のように非進学者の暗さを前提にして調査にのぞむと、その前提が崩れる。あるいは、ふつうの調査の網の目ではつかまえにくいくらいに、その暗さはそれほど大きいものではないのはたしかであろう。

少なくとも、非進学=暗さ、進学=明るさととらえるのは現実的であるまい。そして、仮に非進学の明るさがたしかだとしても、それは現在に限ってのことと、未来については

暗さを予感しているのではという可能性を考えているむきも多かろう。しかし、それが否定されたのは調査報告書で紹介したとおりである。

こうした結果におどろいて、20人近い高校生に集まってもらい、結果についての感想を求めたところ、高校生たちはそれほど予想外でない、というより、むしろあたり前の結果を感じているようであった。「受験は暗いも

のね」、「専修学校へ行くとうかれている子を見るとバカみたいと思うけれど、あの子たち明るいものね」、「つとめるつもりの子はCDなんかきいてるけれど、ちょっと迫力がないな」……である。

そうした話を聞いているうちに気づいたのは、高校生たちが、進学と非進学とを上下や優劣でなく、タイプの違いとしてとらえている現実だった。「大学行く子だって、入った

表A 3つのタイプの対比

		つとめ群	専修群	大学群
学校生活	① 学校が楽しい	(26%)	24%	(37%)
	② 今の学校へ入ってよかったです	(21%)	16%	(28%)
	③ 勉強が苦手	(50%)	(63%)	37%
使い時間の方	④ 家庭で1時間以上勉強する	16%	(26%)	(69%)
	⑤ テレビを3時間以上見る	(40%)	(28%)	17%
マスコミ	⑥ 好きなタレント	さんまと明菜	たけしとユーミン	明菜がきれい
	⑦ 好きなテレビ	夜のヒットスタジオ	元気が出るテレビ	6時半のニュース
	⑧ よく見る雑誌	明星・ノンノ	ぴあ・ポパイ	少年ジャンプ
金銭	⑨ こづかい	(7,400円)	(8,600円)	5,200円
	⑩ アルバイトをしたことがある	(72%)	(73%)	24%
自己像	⑪ 友だちが多い	(51%)	(56%)	48%
	⑫ ナウい	(12%)	(16%)	9%
未来	⑬ しあわせな家庭を築ける	(72%)	(73%)	65%
	⑭ 社会的に活躍できる	19%	(27%)	(24%)
タイプ		マジメ派	ヤング派	ネクラ派

○=第1位 ◇=第2位

ら遊ぶつもりでいるものね」「それに、大学出たって見通し暗いものな」。それなら、どうして大学を目指すのか。親がすすめるから、そして、入れば4年間のんびりできるからという程度の理由であり、それほど積極的に進学をとらえている生徒は少なかった。

話に来てくれた生徒は、県立の高校生で6~7割の者は進学志望とのことだが、目指すところはそれほどはっきりしていなかった。東大や一橋、そして早慶を望む生徒でないから、進学にサメている感じがしたのかもしれないが、彼らにとって、大学へ行くかどうかは、いつ学校を離れて、実社会にでるかの問題で、それ以上の重みを感じていないようであった。

たしかに、生徒たちの目からすると、大学を出たって、ラッシュにもまれ、朝から夜まで働かなければならぬ。それなのに、バイトをするのとそれほど収入は変わらないし、うるさいことをいわれるだけ損だ。それなら大学へ行かずに専修学校も良さそうだが、充実した学校が少ないらしい。かといって、すぐにつとめるのは残念だ。とりあえずそこそこがんばって、大学へ入ろうかという感じで思案し、やはり、ネクラを覚悟して受験しようかという雰囲気である。

調査にあたって、進学しない生徒の明るい面をとらえようとカッコよくきめたつもりだったが、現実の方がはるかに進んでいた。たしかに、大学へ入ったからといって、明るい未来が約束されているわけではない。現在の進学は、他の子も行くから、その子たちに差をつけられないようにという、入ってあたり前のスタイルが多い。

そうだとすれば、目標がはっきりしていないだけに、受験勉強に義務感だけが加わり、明るさに乏しくなるのかもしれない。

豊かな社会に生まれ、なんもあるのがあたり前の環境の中で育ってきた。だから、生徒たちは生活を甘く受けとめ、そこそこのしあわせはつかめるだろうと思っている。しかし、人生なんてそんなに甘いものではない。

なんのかんのといっても、一流大学というレッテルは世の中を渡るのに役立つし、それに、受験ぐらいがんばれないようでは人生は乗り切れない。

おとなたちの世代は、どうしても人生という荒波を乗り切るには、高学歴というキップと努力する態度が不可欠だと思う。しかし、若者たちは、望んだとしてもそんなにビッグになれるわけではない。それならば、マイペースの生活を送っていこう。けっこう、しあわせな家庭も築けると思うし、仕事だってやっていけるはずだと考える。

そうした見方に、それは甘いとおとなちはいいがちだが、それなりにやっていけるようになったのが現代なのであろう。われわれ旧世代の人間は、あすは檜になろうと、あすなろ物語を信じて育ってきた。エコノミックアニマルでもあり、やる気人間でもある。しかし、社会が安定するにつれて、そうした荒しさは求められなくなる。

世の中が変わったのはたしかであろうし、私生活をなげうち、仕事人間として生きるのに多くの問題があるのも否定できない。それだけに、マイペース人間の誕生に納得できる部分もある。そうはいうものの、専修学校志望群に認められる底抜けの明るさやヤングさに、道楽者の二代目というイメージがうかんでくる。資源に乏しい上に、人口の多い日本列島を考えると、とりあえずのしあわせは、一代目のやる気に負う部分が多い。そして、やる気がなくなれば、日本の経済的な安定など砂上の楼閣にすぎなくなる。そうなったときに、甘さに気づいても遅い。

そう考えると、若者たちに人生のきびしさを教えることが必要だと思うが、それも、老婆心や杞憂なのかもしれない。いずれにせよ明るい非進学者層の今後に注目しつつ、いずれ機会をみて、その明るさが本当のものなのか、あるいは明るさが、当世流の軽さで根なし草的な人生に連なっているのか、などをたしかめてみたいと思っている。

● 資料 調査票見本および集計表

[注: 高2・高3だけなので
学年差が少ない。
単純集計のみ示しておく。]
数字は%

① まずあなたの学校、学年、性別についておたずねします。

- ① 学校名 () 高校
 ② 学 年 () 年生 高2 = 33.8 高3 = 66.2
 ③ 性 別 (男子 ・ 女子) <○をつけてください>
 39.5 60.5

② あなたは、部活動（課外クラブ）に入っていますか（1～5のどこかに○をつけてください）。

- | | |
|-----------------------------|------|
| 1. 入ったことがない、または今は入っていない | 51.3 |
| 2. 運動部に入り、積極的に参加している | 19.2 |
| 3. 運動部に入っているが、どちらかといえばサボりぎみ | 4.3 |
| 4. 文化部に入り、積極的に参加している | 15.3 |
| 5. 文化部に入っているが、どちらかといえばサボりぎみ | 9.9 |

③ あなたは、ふだん次のようなことをどのくらいしていますか。

① テレビを見る時間（土、日をのぞく）

〈1日に〉	30分以内	1時間ぐらい	1時間半ぐらい	2時間ぐらい	2時間半ぐらい	3時間ぐらい	4時間ぐらい	5時間以上
	9.5	— 22.2 —	— 16.5 —	— 21.2 —	— 9.3 —	— 12.3 —	— 5.7 —	— 3.3 —

② ラジオを聞く（土、日をのぞく）

〈1日に〉	まったくきかない	ほとんどきかない	30分ぐらい	1時間ぐらい	2時間ぐらい	3～4時間ぐらい	それ以上
	18.6	— 39.8 —	— 14.9 —	— 13.7 —	— 9.4 —	— 2.6 —	— 1.0 —

③ マンガの雑誌を読む

ほとんど読まない	たまに読む	1週間に1冊ぐらい読む	1週間に2～3冊ぐらい読む	それ以上読む
26.0	— 37.6 —	— 16.4 —	— 13.5 —	— 6.5 —

④ マンガの本を読む

ほとんど 読まない	たまに 読む	1週間に 1冊ぐらい 読む	1週間に 2~3冊ぐらい 読む	毎日のように 読む
29.9	48.0	8.4	7.7	6.0

⑤ レコードや音楽のテープを聞く

ほとんど きかない	たまに きく	1週間に 1 日 ぐらいきく	1週間に 2~3 日 ぐらいきく	毎日のように きく
4.6	15.6	5.7	16.1	58.0

⑥ 本を読む（マンガや参考書以外）

ほとんど 読まない	たまに 読む	1か月に 1冊ぐらい 読む	1か月に 2~3冊ぐらい 読む	1か月に 4~5冊ぐらい 読む	それ以上 読む
19.4	32.6	20.7	17.8	5.1	4.4

⑦ 家での勉強（土、日をのぞく）

(1日に)	ほとんど しない	30分 ぐらい	1時間 ぐらい	1時間半 ぐらい	2時間 ぐらい	2時間半 ぐらい	3時間 以上
23.3	9.0	13.4	9.3	15.1	9.7	20.2	

④ 次にいろいろなテレビ番組名が書いてあります。あなたは、それぞれのテレビ番組をどれくらい見ていますか。1~4の番号でお答えください（□の中に数字を入れる）。

1 ————— 2 ————— 3 ————— 4

毎週必ず
見ている わりと
見ている たまに
見ている ほとんど
見たことがない

① キン肉マン	0.9	⑪ 夜のヒットスタジオデラックス	10.7
② 北斗の拳	8.5	⑫ 夜6時半頃のニュース番組	13.4
③ 女子プロレスの番組	2.4	⑬ 夜11時頃のニュース番組	5.8
④ プロ野球中継の番組	11.4	⑭ 月(金)曜ロードショー	3.8
⑤ 天才・たけしの元気が出るテレビ!!	15.3	⑮ 英語会話 I	1.1
⑥ タヤケニヤンニヤン	3.4	⑯ YOU	1.7
⑦ オレたちひょうきん族	17.6	⑰ 水戸黄門	1.9
⑧ クイズ・100人に聞きました	2.9	⑯ 特捜最前線	1.6
⑨ 世界まるごとHOWマッチ	9.4	⑯ トウナイト	2.0
⑩ ベストヒットUSA	7.6	⑰ オールナイトフジ	3.5

*「毎週必ず見ている」割合

● 資料 調査票見本および集計表

⑤ 以下に20人の人物の名があります。それぞれの人について好きか、きらいかを1~5の番号でお答えください(□の中に数字で入れる)。

1 ————— 2 ————— 3 ————— 4 ————— 5

とても好き まあ好き あまり
好きでない きらい その人を
知らない

① 少年隊	8.9	⑪ 大橋巨泉	2.0
② ビートたけし	30.2	⑫ 久米宏	4.8
③ 中曾根康弘	3.4	⑬ 小泉今日子	13.7
④ 愛川欽也	1.2	⑭ 椎名誠	4.2
⑤ タモリ	3.5	⑮ 本田美奈子	5.4
⑥ 原辰徳	5.6	⑯ 中森明菜	21.0
⑦ 赤川次郎	8.9	⑰ 松任谷由実	17.0
⑧ 古館伊知郎	7.2	⑱ 薬師丸ひろ子	14.7
⑨ 明石家さんま	35.0	⑲ 江川卓	10.3
⑩ とんねるず	16.4	⑳ 糸井重里	3.2

「とても好き」の割合

⑥ あなたはふだん、次のようなことをどのくらいやっていますか。

	いつも している	かなり している	あまり していない	ぜんぜん していない
① 好きなアーチストの記事やポスターを集める	5.7	13.2	41.7	39.4
② レコードやミュージックテープを買う	12.8	29.4	41.9	15.9
③ レコードやラジオから、音楽をカセットテープにダビングしてきく	27.8	42.5	22.6	7.1
④ テレビの音楽番組やプロモーションビデオを録画して楽しむ	11.0	19.0	29.4	40.6
⑤ 好きなアーチストのコンサートに行く	8.8	12.0	33.3	45.9
⑥ テレビや雑誌の芸能情報を見る	11.8	27.4	43.2	17.6
⑦ 友だちとレコードやカセットテープの貸し借りをしたり、さまざまな情報交換をする	19.6	33.2	33.6	13.6
⑧ あるアーチストのファンクラブに入っている	6.4	2.2	5.6	85.8

⑦ あなたは、次のような雑誌をよく読んでいますか。読んでいるものに○をつけてください（○はいくつでもかまいません）。

1. 週刊ベースボール	3.4	9. ぴあ	27.2	17. 日刊アルバイトニュース	3.7
2. 明星	10.3	10. チャレンジ	0.6	18. 週刊少年サンデー	16.7
3. 週刊少年ジャンプ	29.1	11. オートバイ	8.7	19. 微笑	3.0
4. ポパイ	12.2	12. りぼん	5.6	20. 平凡パンチ、 プレイボーイなど	7.0
5. 螢雪時代	4.6	13. 週刊少女フレンド	3.4	21. non·no	27.9
6. フライデー、フォーカス	24.2	14. マイコンの専門誌	2.4	22. ヤングジャンプ	17.4
7. プチセブン	6.0	15. FMレコパル	2.4		
8. Lemon	6.3	16. 週刊マーガレット	3.6		

⑧ あなたは次のようなことを、どれくらいしていますか。

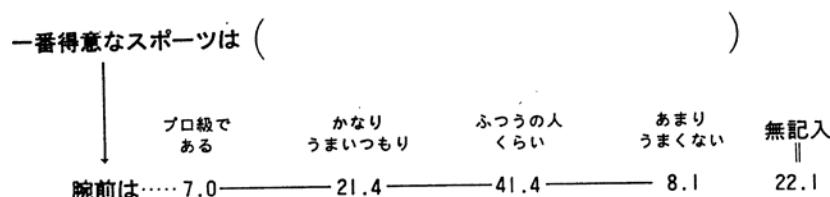
	よく する	わりと する	まあ する	あまり しない	ぜんぜん しない
① ノートなどにマンガのらく書きを する.....	8.7	8.4	14.6	28.8	39.5
② 友だちにマンガを描いてあげる.....	2.1	2.5	4.4	16.1	74.9
③ 友だちや先生の似顔絵を描く.....	2.4	4.0	6.8	18.4	68.4
④ マンガのポスターを部屋にはる.....	2.4	1.5	4.3	11.5	80.3
⑤ マンガの単行本を集める.....	10.8	11.0	19.2	23.4	35.6
⑥ テレビアニメを見る.....	7.7	10.5	22.2	29.9	29.7
⑦ アニメのレコードをきく.....	1.4	1.6	3.3	12.2	81.5
⑧ アニメのキャラクター商品(たとえ ばカンペンケース、下じきなど) を持つ.....	1.7	2.0	4.0	11.3	81.0

● 資料 調査票見本および集計表

⑨ アニメ雑誌(「アニメージュ」など) を読む.....	よく する	わりと する	ま あ る	あ ま り し な い	ぜんぜん し な い	
	2.3	1.5	2.7	8.9	84.6	

⑩ アニメ雑誌や同人誌に作品を出す.....	0.6	0.5	0.8	2.7	95.4	
------------------------	-----	-----	-----	-----	------	--

⑨ あなたはどんなスポーツをしていますか。



⑩ あなたは、次のようなものを自分用として持っていますか。持っているもの全部に○をつけてください。

1. ラジカセ	78.8	6. テレビ	27.7	11. ドライヤー	63.0
2. ウォークマン	56.1	7. バイク	11.1	12. ピアノまたは エレクトーン	33.1
3. ステレオ	43.2	8. ギター	18.3	13. テニスのラケット	39.8
4. カメラ	39.0	9. パソコン(マイコン)	8.5	14. スキーの道具	11.9
5. キーボード	5.8	10. 電卓	47.5		

⑪ あなたのおこづかいの額(自由につかえるお金)は、1か月平均にするとどのくらいになりますか。

1) 0 ~ 1,000円	2.5	5) 10,001円 ~ 20,000円	12.5
2) 1,001円 ~ 3,000円	8.4	6) 20,001円 ~ 30,000円	4.3
3) 3,001円 ~ 5,000円	32.7	7) 30,001円 ~ 50,000円	2.8
4) 5,001円 ~ 10,000円	35.2	8) 50,001円以上	1.6

⑫ あなたはおこづかいのうち、うちの人からもらうと、自分で働いて得るのとは、どれくらいの割合ですか。

- | | |
|----------------------------|------|
| 1. 全部うちの人からもらう | 75.9 |
| 2. だいたいうちの人からもらうが、すこし自分で働く | 10.2 |
| 3. うちの人からもらうと、自分で働いてが半分ずつ | 4.8 |
| 4. だいたい自分で働き、すこしうちの人からもらう | 6.3 |
| 5. 全部自分で働く | 2.8 |

⑬ アルバイトについておたずねします。

1) あなたはこれまでアルバイトをしたことがありますか。

- | | | |
|-------|-------|---------------------------------|
| 1. ある | 2. ない | (アルバイトをしたことのない人は
⑭へ進んでください。) |
| 41.0 | 59.0 | |

2) それでは、はじめてのアルバイトはいつでしたか。

1. 中学時代 7.7
2. 高校()年()月頃 32.2
(()の中に入てはまる数字を入れてください)
なし=60.1

3) 次にいちばん長く続いたアルバイトを思いうかべてください。それはいつでしたか。

- なし=59.5
- | | |
|--------------------|------|
| 1. 夏休み、冬休み、春休みだけ | 17.8 |
| 2. 休みの間と、日曜・祭日だけ | 4.0 |
| 3. ふつうの日(休日を除いて)だけ | 7.4 |
| 4. 特にきまっていない | 11.3 |

● 資料 調査票見本および集計表

4) それはどんな種類のアルバイトでしたか。具体的に書いてください。

()

5) 今、アルバイトをしている人におたずねします。それは1週間にどのくらいしていますか。

毎日	週に4~5日	週に2~3日	週に1日
14.2	31.3	39.2	15.3

6) アルバイトをやって、あなたはどう変わりましたか。

	とても そうなった	わりと そうなった	すこし そうなった	変わら ない
① 働くことが大変なことがわかる…	41.7	33.7	14.9	9.7
② むだづかいをしなくなる…………	9.6	17.4	22.6	50.4
③ 言葉づかいがていねいになる……	11.7	18.8	23.5	46.0
④ 進みたい進路がはっきりしてくる・	5.2	6.2	11.7	76.9
⑤ 友だちがふえる……………	21.2	23.4	23.8	31.6
⑥ なんとなくおとなになったようだ・	9.8	19.3	25.2	45.7
⑦ 親からこづかいをもらわなくなる・	14.3	9.9	17.2	58.6
⑧ 授業を熱心にきくようになる……	3.0	3.9	9.3	83.8

⑭ あなたは、はじめからこの高校に入学を希望していましたか。あてはまるところに○をつけてください。

- | | |
|---------------------|------|
| 1.はじめから希望していた | 26.7 |
| 2.他の学校を希望していた | 56.8 |
| 3.どこでもよいと思った | 13.1 |
| 4.ほんとうは高校には行きたくなかった | 3.4 |

⑮ あなたは学校生活について、次のようなことをどのくらい思いますか。いちばん近いものに○をつけてください。

とても そう思う	わりと そう思う	やや そう思う	あまり そう 思わない	ぜんぜん そう 思わない
-------------	-------------	------------	-------------------	--------------------

- | | | | | | |
|-----------------------|------|------|------|------|------|
| ① 学校へ行くのが楽しみだ | 7.8 | 24.0 | 22.2 | 29.7 | 16.3 |
| ② 休み時間が楽しみだ | 20.7 | 25.7 | 24.8 | 20.5 | 8.3 |
| ③ 昼食が楽しい | 21.5 | 25.7 | 24.1 | 20.4 | 8.3 |
| ④ 授業中はまじめにとりくんでいる | 6.8 | 27.2 | 30.1 | 23.4 | 12.5 |
| ⑤ 発言をよくする | 2.1 | 3.9 | 11.3 | 40.1 | 42.6 |
| ⑥ 宿題や提出物は、期限までにきちんとやる | 18.1 | 26.2 | 24.6 | 21.4 | 9.7 |
| ⑦ テスト勉強はがんばる | 8.8 | 22.1 | 32.0 | 24.4 | 12.7 |
| ⑧ 忘れものをしない | 13.7 | 28.0 | 26.9 | 22.2 | 9.2 |
| ⑨ 遅刻はしない | 42.3 | 19.0 | 13.2 | 14.5 | 11.0 |
| ⑩ 勉強は得意なほうである | 2.1 | 5.0 | 15.9 | 43.4 | 33.6 |

● 資料 調査票見本および集計表

⑯ 今考えてみて、「この高校に入ってよかったです」と思いますが、よくなかったと思いませんか。

1. やはり、入ってよかったです 22.0
2. はじめはそうでもなかったが、だんだんよかったですと思えるようになってきた 37.5
3. はじめは期待していたが、だんだん入らなければよかったですと思うようになってきた 20.0
4. やっぱり、入らなければよかったです 20.5

⑰ あなたは卒業後の進路について、今どのくらいの見通しをたてていますか。

- | | |
|---------------------------|------|
| 1. はっきり見通しをたてている | 25.5 |
| 2. ある程度の見通しをたてている | 73.2 |
| 3. 見通しをたてていない (□へ進んでください) | 1.3 |
- S Q (1.2.と答えた人のみ、教えてください)

あなたが今考えている進路は、だいたい下のどれにあたりますか。

1. 卒業したら家の仕事をつぐ 0.7
2. 卒業したらすぐにつとめる 12.4
3. 卒業したら専修学校に入る 11.2
4. 卒業したら短大に入る 18.2
5. 卒業したら大学に入る 56.3
6. 卒業したら早めに結婚する 1.2

⑱ 高校在学中にとりたいと思っている資格があつたら、その資格を書いてください。

⑯ あなたの勉強は、これまでどうでしたか。

	とても 苦手	かなり 苦手	ふつう くらい	やや 得意	とても 得意
① 小学2～3年の頃	7.6	7.8	40.8	22.0	21.8
② 小学5～6年の頃	6.4	9.6	38.4	27.2	18.4
③ 中学3年の頃	7.8	17.2	41.0	23.4	10.6
④ 現在	15.8	30.3	44.5	7.9	1.5

㉚ あなたは将来おとなになってから、どんな生活を送りそなうだと思いますか。

	きっと そうなれる	たぶん そうなれる	すこし むずかしいかも	かなり むずかしい	とても むずかしい
① 望んでいる進路に進める	11.4	24.5	40.6	15.8	7.7
② 良い子どもに恵まれる	18.2	44.7	22.5	7.0	7.6
③ 好きな人と結婚できる	26.4	33.0	21.6	9.1	9.9
④ しあわせな家庭をつくれる	26.9	41.4	18.3	6.3	7.1
⑤ ふつうくらいの暮らしができる	26.7	51.5	13.9	3.6	4.3
⑥ 望んでいる仕事につける	15.1	30.2	37.6	10.6	6.8
⑦ 仕事仲間から尊敬される	8.4	25.0	42.4	15.2	9.0
⑧ 年に1～2回泊まりがけの家族旅行ができる	20.6	39.8	24.8	7.5	7.3
⑨ ふつうくらいはお金が入る	23.8	53.0	16.3	3.7	3.2
⑩ 社会的に大活躍できる	9.4	13.8	37.7	20.2	18.9

● 資料 調査票見本および集計表

きっと たぶん すこし かなり とても
そうなれる そうなれる むずかしいかも むずかしい むずかしい

⑪ 広い庭のある家に住める…………… 12.0 —— 15.0 —— 41.3 —— 17.8 —— 13.9

⑫ 市（区）議員になる…………… 2.5 —— 1.3 —— 6.7 —— 13.1 —— 76.4

㉑ あなたのことについておたずねします。

まったく わりと まあ あまり ぜんぜん
その通り そう そう そうでない そうでない

① マンガを描くのは好きで、け
っこううまい…………… 3.1 —— 5.2 —— 10.4 —— 26.3 —— 55.0

② 本やノートにらく書きをする…………… 8.7 —— 10.7 —— 17.8 —— 25.4 —— 37.4

③ マンガ字を書く…………… 3.8 —— 6.4 —— 14.2 —— 26.2 —— 49.4

④ カラオケはわりと得意だ…………… 8.8 —— 9.3 —— 16.4 —— 28.3 —— 37.2

⑤ 人前でも好きな歌は歌える…………… 10.6 —— 10.7 —— 18.2 —— 26.9 —— 33.6

⑥ けっこういい線までできる楽器が
ある…………… 9.1 —— 13.6 —— 14.7 —— 24.4 —— 38.2

⑦ ワープロやパソコンを使える…………… 3.2 —— 4.6 —— 10.6 —— 18.3 —— 63.3

⑧ その辺を走っている車の車種・メ
ーカーがわかる…………… 6.9 —— 10.0 —— 14.9 —— 24.2 —— 44.0

⑨ 「Lemon」や「ポパイ」などのフ
ァッション雑誌は、気にして見て
いる…………… 10.9 —— 13.6 —— 19.9 —— 24.3 —— 31.3

⑩ 外国で人気の歌手がわかる…………… 12.5 —— 19.3 —— 22.3 —— 28.9 —— 17.0

⑪ 授業中のノートは、きちんととつ
ている…………… 23.7 —— 29.4 —— 26.8 —— 13.6 —— 6.5

● 資料 調査票見本および集計表

まったく その通り	わりと そう	まあ そう	あまり そうでない	ぜんぜん そうでない
--------------	-----------	----------	--------------	---------------

- ⑫ 好きな歌手の新曲がでると、レコードを買ったりカセットテープにとったりする 27.8 —— 20.8 —— 18.9 —— 17.6 —— 14.9
- ⑬ 好きな作家の本は、たくさん読んでいる 14.4 —— 18.4 —— 22.3 —— 26.9 —— 18.0
- ⑭ 毎週・毎月、占いを見ている 10.4 —— 11.0 —— 14.7 —— 26.7 —— 37.2
- ⑮ 友だちとダベったり、遊んでいるなら徹夜も平気だ 25.8 —— 21.8 —— 19.4 —— 20.4 —— 12.6
- ⑯ 友だちと遊びに行った先で、新しい友だちができる 12.2 —— 21.5 —— 28.6 —— 29.1 —— 8.6
- ⑰ 制服に手を加えるなど、かっこうを気にする 5.2 —— 10.6 —— 23.8 —— 37.0 —— 23.4
- ⑱ 体育祭や文化祭になるとはりきる 8.4 —— 12.3 —— 26.8 —— 32.4 —— 20.1
- ⑲ ケンカにはちょっと自信がある 4.8 —— 9.0 —— 20.1 —— 35.8 —— 30.3
- ⑳ 冗談を言うのがうまい 7.8 —— 13.3 —— 31.7 —— 32.6 —— 14.6
- ㉑ あなたは、自分をどんなタイプだと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。
- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1. ナウいかっこうをしている 10.6 | 6. 運動神経がいい 22.1 |
| 2. 勉強がよくできる 7.7 | 7. 友だちをひっぱる力がある 13.7 |
| 3. 異性から人気がある 10.6 | 8. 先生から信頼されている 13.1 |
| 4. 友だちが多い 48.6 | 9. 体力がある 32.7 |
| 5. 心がやさしい 41.3 | |

(以上で終わりです。長い間ありがとうございました。)